

高久美浜 同窓会報

発行
久美浜高校同窓会
会報編集委員会

TEL 0772(82)0069
FAX 0772(82)0690
URL <http://www.kyoto-be.ne.jp/kumihama-hs/>



ごあいさつ

同窓会長 岡田 修

(高26回・昭和49年卒)

の協力を得て、伝統ある久美浜高校同窓会の発展のために、一生懸命に努めさせて頂きまますのでよろしくお願ひします。

同窓会の事業計画としては、地域にとつての大切な久美浜高校の発展存続はもちろんのこと、会員相互の親睦事業にも力を入れていきたいと思ひます。会員の皆様には、ご意見や要望など気軽に連絡して頂くようお願いいたします。

今年度の事業は、10月に「日本の地震そして丹後の地震」吉岡祥一教授(神戸大学)の講演会を実施しました。丹後地方の地震の可能性は低いことや地震や津波の仕組みを解りやすく説明して頂くなど、防災対策の役に立った講演会でした。

久美浜町でも過疎に加え、少子高齢化が急速に進み、現状は町内の7小学校

合わせて、1学年で70人から90人の児童数で複式学級もあります。そこで本市では、市内31校の小学校と9校の中学校を再編する計画を立て進めています。久美浜町では、久美浜中と高龍中が平成25年4月統合して久美浜中学を使ひます。小学校では、久美浜小はそのままで、神野小・湊小・田村小は、平成25年4月に統合して神野小学校を使ひます。佐濃小学校・川上小学校・海部小学校は、平成26年4月に統合して旧高龍中学校を使ひます。平成26年度までに久美浜町は3保育所、3小学校、1中学校と

最後に重ねてのお願いとなりますが、会報発行賛助金(一口2,000円)が不足している状況です。その影響で、例年発行している

会報が存続の危機に直面しています。どうか同窓会の現状をご理解の上、ご協力頂きますようお願いいたします。

同窓生の皆さんの更なる御支援をお願いします!

校長 小田 滋夫



同窓生の皆様におかれましては益々御清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育に對しまして、色々な形で御支援、御協力をいただき、ありがとうございます。

さて、本校は来年度に110周年を迎えます。これも同窓生の皆様を始め、多くの皆様の御尽力のおかげです。深く感謝し、衷心よりお礼申し上げます。

今年度、定例の理事会において、永らくお世話になりました岡田修新会長の退任、岡田修新会長の就任が承認されました。岡田会長様におかれましては、平成10年度から副会長として10年間、平成20年度から会長として3年間、合計13年間の

永きにわたつて、同窓会の活性化に向けて御貢献いただきました。卒業生の母校や同窓会への帰属意識が希薄化する昨今の雰囲気の中で、同窓会の発展に献身的に寄与されたことに心から敬意を表します。

岡田修新会長様におかれましては、本校硬式野球部の黄金時代に選手として活躍され、母校愛の強い人格者でいらつしやいます。どうか、岡前会長同様に、盛

りたてて、御協力いただきませうお願いいたします。

さて、本校もおかげをもちまして、安全で安心して生徒達が学習や部活動に熱中できる環境を維持し、進路、部活、資格取得などさまざまな実績を維持しております。

しかし、一方では、過疎化の波は深刻で、平成32年度には丹後通学圏の中3生は今年度の1,109人から280人減少、何と7クラス分の減少が見込まれています。また、久美浜町内出身の生徒の全校に占める割合も昨年度よりは少し上がったものの48%と半分を切っている状態です。町外から北近畿タンゴ鉄道を利用して通学する生徒が約80人、丹海バスを利用して来る生徒が約60人という状況です。このような逆風の荒れ狂う中で、何とか特色を出し、地域の学校の存続に向けて、生徒も教職員も精一杯の努力を重ねております。皆さんの更なる御支援を期待しております。未筆になりましたが、久美浜高校同窓会のみならずの御発展と会員の皆様の御健勝をお祈りいたします。

りたてて、御協力いただきませうお願いいたします。

支部だより

東京支部

“絆”を深めて

東郷 久仁子 (14期生)

秋も深まり二〇一一年も残り少なくなってきました。思いもしない大震災に遭遇し、日本中の人々が自然の脅威を改めて痛感し、それを試練と受けとめ、たくさんのことを考えながら生活してきました。一日も早い復興を祈るばかりです。

東京久美浜会では年明けより、四月末修学旅行で上京される「久美中・高龍中」の皆さんと都庁にて交流会を開催することが企画され、楽しみに準備してきたのですが、震災の影響が東京でも甚大でや

むなく両校共旅行先を変更されたとのことで実現出来ず残念でした。また近い将来の開催を願っています。

東京久美浜会の第三三回総会・懇親会は予定通り五月末、米田京丹後市副市長、小田久美浜高校校長、岡同窓会会長、山内京都府東京事務所長のご出席のもとに盛大に行われました。窪田(井垣)美智子さん門下の方も華麗なフラダンスを披露してください一層華やかな楽しい懇親会のひと時となりました。

山陰海岸の世界ジオパークネットワーク加盟おめでとうございます。私たち、関東のそれぞれの地で生活し歳を重ねながら折りにふれふるさとの美しい光景やその中で友だちと共有した数々の思い出を懐かしんでいます。

これからも多くの出会いを大切にふるさとの皆様との絆をさらに深めてゆきたいと再認識しています。よろしくお願いたします。



東京支部連絡先
小谷克己
TEL 080-1051-1043
FAX 03-3870-7263

京都支部

京都支部現状報告

古村 義貴

昨年より、前支部長吉谷氏の後を受けて支部長の任を賜っております。力不足ですが、役員の皆様のご協力をお願いし、やって行きたいと思っております。どうかよろしくお願い致します。

支部の行事は現在のとこ、年一回の総会、会食、約四時間懇談です。その総会も出席をする人は限られていて、五〇歳代から八〇歳代の人達です。発足当時百名を超

える参加者がありました。年と共に参加者が減少し、現在では当時の半数以下と云う年もめずらしくありません。原因についてはいろいろあると思いますが、第一は、出席者の高齢化です。出席を続けて頂いていた方達にも健康上の問題が発生し、参加が難しくなってきたり、無関心の人達は、従来どおり、出席しない。第二に、若い人達においては、全く無関心で、参加

神久美

第9回京阪神久美浜会総会・懇親会を開催!

藤原 俊文

10月29日は、秋晴れの爽やかな天気に恵まれ、奇しくも「国民文化祭」開催初日にあたり、記念式典・パレードなど、府内各地で多くの記念行事が開催される多忙な日でしたが、「京阪神久美浜会」の第9回総会・懇親会を無事に開催することが出来ました。

来賓の京都府太田昇副知事は、北部の交通網の整備状況と見通しや国道9号線の渋滞緩和策の予定、丹後地域の観光と食を結び付けて活性化を図っていくことなどの強いメッセージをお話しになりました。



久美浜市民局の月岡良子局長からは、4月19日に114歳になられた国内男性最高齢

して頂けない状況であります。後三ヶ月で総会を迎えますが、対策として、同じ年代の人達に、これまで参加したことのない人や、参加経験の少ない人を誘って、出席を促すよう努力する。第二に、若い人達について、同じ卒業年度の人の中から幹事を選任しその人を中心に、出席を促すよう



働きかけてゆく等、役員の皆様のご意見を伺い、効果的な方法を実践して行きたいと考えております。

最後になりましたが、支部を支えて頂く役員の皆様をご紹介させていただきます。

副支部長 吉岡克己
理事長 会計 山口清史
理事 梅田昌枝 今井巧 吉岡勇 池田義明 奥田薫 保田剛毅
木村滋世 小山貞及
中川由紀子 稲垣勝彦
皆様、よろしくお願ひ申し上げます。

の丹後町中野在住の木村次郎右衛門様に「京丹後市市民栄誉賞」が授与されたこと、百歳福寿の地域としての期待が膨らんでいること、山陰海岸ジオパークネットワークの加盟を機に、観光と地域活性化に結び付けていくことなど力強いお話を伺いました。

小田滋夫校長先生と岡田修同窓会長からは、久美浜高校創立110周年を控えて、耐震工事として第二体育館と本館の改修工事が完成すること、スポーツ面では、カヌー競技の活躍が顕著で国内外の賞に輝くなど素晴らしい成績を残していること、野球部・剣道部も力をつけていること、また学習面では、介護福祉士国家試験で全員合格という成績を収められたこと等

をお話しされ、今後の期待が益々膨らんでまいります。

また、如意寺の友松祐也住職より、4月に発足した豪商稲葉本家を拠点とする「わくわくする久美浜をつくる会」の活動と久美浜一區が京都府景観資産の登録に至るご苦労のお話を「面白おかしく」お聞きしました。

最後に参加者全員で記念撮影、月岡市民局長に届けて頂いた京丹後市の花「トウテイラン」をお持ち帰り頂き、「久美浜の絆」を結ぶ素晴らしい記念の品となりました。

来年は、10月27日(土)に、今回と同じ「ホテル日航ブリONSES京都」で開催を予定しています。皆様の多数のご参加をお待ちしています。

演題 「日本の地震、そして丹後の地震」

平成23年度 同窓会講演会



講師 吉岡 祥一 氏
(神戸大学大学院理学研究科教授)

今年度の講演会は、3月11日に東日本大震災が発生したこともあり、多くの方が興味・関心を持っておられるとの思いから、地震についての講演会にしようとして事務局で話がまとまりました。

そこで、神戸大学大学院理学研究科教授であり、地震学の第一人者である吉岡祥一先生をお招きし、10月15日(土)に久美浜市民局にて実施しました。参加者は約50名でした。

先生は地震や津波を専門的に研究されており、これまでに著書も多く、現地調査も数多く実施されています。地震や津波はなぜ起こるのかといった基本原理から始まり、東日本大震災について、北丹後震災について、そして今後の丹後地方における地震の可能性について(郷村断層や山田断層の動き)、防災対策についてお話をいただきました。

約1時間半にわたり、スライドと資料を利用しながら懇切・丁寧に解説していただき、理解を深めることができました。また、東北地方における現地での津波調査の経験やその結果、宮古市へ津波が迫るビデオを見せていただく中で、改めて地震や津波の脅威を感じるとともに、防災対策の大切さを、痛感することができました。

参加者の皆さんは真剣に聞き入っておられ、あっという間に時間が経ち、質問も多くありました。その中で、これまで日本海側の津波の研究例(や記録)があまりなく、今後の課題であると指摘されました。

やや参加者が少なかったことが非常に残念でした。次回は多数の御参加をよろしくお願ひします。



お詫びと訂正

本年六月発行の「同窓会会員名簿(平成二十三年版)」に一部誤りがありましたので、お詫び申し上げます。

○巻頭写真ページ

久美浜農学校校歌

(誤) 千田・町飾る

(正) 千町・田飾る

久美高同窓会では毎年講演会を開催しています。いろいろな方面で活躍している方や、話を聞いてみたい方がありましたら、ぜひ事務局までお知らせください。(自薦他薦を問いません。)

んぼつていること、
 ・孫のこと、
 ・仕事は退職したので、やりたいと思いつけていたことを今楽しんでやっていること、
 ・趣味に生き甲斐を感じて楽しんでること、
 ・けがをしたがなかなかおられないこと、
 ・腰や、足が少々痛いこと、
 あるいは、
 ・新しく挑戦していること、
 等々、一人一人が思い思いに、少しばかり具合が悪くなっている、元気がよく動き回っていることを生き生きと話しました。話のさなかに、ヤジが飛び、一同の爆笑を誘ったりすることも多々あり、いつもながらですが、みんなが楽しんだ時間でした。
 そして、一言報告が終われば、小さな輪を作り昔懐かしい話に花を咲かせたり、お互いの家のことを話したりして、賑やかにあつという間に時間が過ぎました。そして、次回に会える楽しみを約束しながらの終了となりました。
 次は、ほとんど全員の参加で二次会です。一転して、カラオケとお酒でまた違った賑やかで愉快な時間を共有しあいました。歌う曲がつきることなく、加えてお酒もどんとすすみ、予定していた時間を超えるパワーあふれる宴となりました。
 そして、宿に帰っての三次会です。泊まる者はさすがに減りますが、それでも半数を超えるものたちで、夜が更けるのも忘れて語り合いました。
 翌朝は、少し寝不足気味な表情でしたが、前夜の余韻を楽しみながら朝食をすまし、次回での再会を楽しみにしながら散会しました。

元気に、楽しく、生きがいをもった暮らしをして、数年後、また、近況を報告し合いたいものです。

昭和44年卒 3年C組同窓会
 世話係 世話係

日時 平成二十三年 六月二十六日(日)
 午後〇時から三時まで
 会場 浜の路「臨江庵」
 (久美浜町湊宮)

還暦という節目に当たり、皆さんが心待ちにしていた同窓会をようやく開催することができました。四十二年ぶりの再会となる級友もあり、互いにふと「誰やったかな」という表情を見ることがありました。しかし、打ち解けるのにさほど時間は必要なく、同窓生として思い出を共有していることを実感しました。
 五十一名の級友の内二十三名と担任の森恭満先生が出席してくださいました。先生にとっても初めての担任ということでも格別の思いがあるとお聞きしました。
 今ほど写真を思う存分撮れる時代ではないので、当時の数少ない写真を見ながら、それがどういう写真なのか色々な思い出話を交わしながら、頁をめくるように記憶を呼び戻していただきました。
 退職をされ第二の人生



を模索している方、事業を起これ生涯現役を貫かれる方、孫の守りに真つ最中の方など様々に、皆さんのお顔に四十二年間の歩みが誇らしげに映っていました。
 今回の同窓会が思い出を振り返る会とするなら、次回は四十二年間を語る会であればいいかなと思つてい

昭和45年卒 3月卒業 3年D組同級会
 幹事代表 小國 幸太郎

昭和45年3月久美浜高校を卒業し、本年を中心に還暦を迎えた3年D組は、平成23年9月4日、担任の市川(旧姓船戸)先生も同席の同級会を久美浜町湊宮「民宿みなと荘」を会場に開催しました。



前回の同級会は初老の時、およそ20年後の再会「人によつては高校卒業後40年を超えての再会」の人もあり、取分け男性の変貌が大きく、あの人誰?の声も出るなど多少戸惑いを感じる場面もありました。
 今回の同級会の日は前日から台風の襲来があり、JR等の列車の全面ストップが解除されるかどうか分からず、京都や遠くは和歌山からの出席者の足が確保できるかやきもきする中となり、参加者予定者が無事揃うことが決定した時にはやれやれとなりました。
 生徒は還暦、先生は古希が近いとあり、次の同級会はあまり年数をおかずに開催しないと参加者が少なくなる心配をしなければならぬような年となったため、次回開催をおよそ2年後と決めて散会となりました。



理事会開催

去る6月17日、浜路の「みのり旅館」において、平成23年度同窓会理事の同窓会理事が開催されました。
 内容につきましては、平成22年度事業報告及び会計決算報告の承認、平成23年度の役員体制、事業計画及び会計予算の承認について慎重に審議されました。
 三役の役員改選におきましては、新会長に岡田修氏、新副会長に森垣敦雄氏、岡田高夫氏(継統)が就任されました。前会長の岡眞子氏は100周年事業の準備段階から副会長10年、会長3年と長きにわたりご尽力いただきました。理事会終了後は岡会長のご苦勞をねぎらい、また、各地区の理事の方と懇親を深めることができました。



大奮闘!!部活動結果報告!!

剣道部

両丹高等学校選手権 女子団体 **準優勝**
 京都府立高等学校選手権 女子団体 **第3位**



野球部

秋季京都府高等学校野球大会 **2勝**

久美浜高校 12-5 海洋高校
 久美浜高校 6-1 大江高校

修学旅行報告

平成23年11月22日(火)
 ~ 25日(金)

3泊4日



沖縄海洋博記念公園(美ら海水族館)にて



退村式(伊江島にて)

2年生94名が沖縄への修学旅行を終え、全員元気に帰ってきました。平和学習、伊江島での民泊体験等充実した4日間になりました。この貴重な体験を今後の高校生活にいかしていきたいです。

伝統のカヌー部！上位入賞！！

全国高等学校総合体育大会

(宮城県加美町)

準優勝 カヤックフォア (200m、500m)

3年C組 細口竜之介 (久美浜中出身)

2年C組 高谷 琢人 (橘中出身)

3年C組 小國 健人 (久美浜中出身)

2年C組 畑中 博貴 (久美浜中出身)

3位入賞 カヤックペア (500m)

7位入賞 カヤックペア (200m)

7位入賞 カヤックシングル (500m)

(3年C組 小國 健人 (久美浜中出身)
2年C組 畑中 博貴 (久美浜中出身))

2年C組 高谷 琢人 (橘中出身)

第66回国民体育大会

(山口県岩国市)

3位入賞 カヤックペア (200m)

4位入賞 カヤックペア (500m)

6位入賞 カナディアンペア (200m)

7位入賞 カナディアンペア (500m)

(2年C組 高谷 琢人 (橘中出身)
2年C組 畑中 博貴 (久美浜中出身))

(2年A組 能勢慎太郎 (久美浜中出身)
片山 湧悟 (綾部高))

久美浜から世界へ！！

★ アジアカヌースプリント選手権大会出場

日本代表選手・コーチ

カヤック 2年C組 畑中 博貴 (久美浜中出身)

2年C組 高谷 琢人 (橘中出身)

コーチ 教諭 小西 鉄也



日時 10月13日(木) ~ 17日(月)

場所 イラン (テヘラン)

結果 6位入賞



~カヌー部~

多くの方々から物心両面での御支援・御声援をいただき、誠にありがとうございました。

平成23年度 同窓会 理事名簿

会長	岡田 修
副会長	岡田 高夫
副会長	森垣 敦雄
理事 一区	桜井 武
理事 一区	中島 毅
理事 二区	和田 喜孝
理事 二区	増馬 孝之
理事 川上	坪谷 栄一
理事 川上	松田 澄子
理事 海部	小国幸太郎
理事 海部	松田 玲子
理事 佐濃南	奥田 幸男
理事 佐濃南	深田 功二(会報)
理事 佐濃北	北尻 幸彦
理事 佐濃北	松本 哲朗(監事)
理事 田村	中村 晴司
理事 田村	長砂 幸男
理事 神野	平林 昌英(監事)
理事 神野	黒田 啓正
理事 湊	藤野 均
理事 湊	鈴木 省樹
理事 旧中郡	吉岡 和行
理事 旧中郡	安見 義和
理事 旧竹野郡	井谷 實夫
理事 旧竹野郡	山口 一彦
理事 旧竹野郡	田家 一雄
理事 旧竹野郡	長田 征男
理事 与謝宮津	田崎 晴輝
理事 但馬	高田 爽司
理事 但馬	古橋 省三
顧問 校長	小田 滋夫
顧問 副校長	増馬 宗男
顧問 事務長	岡田 佳之

平成23年度 基本金収支予算書

収入				
科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	摘要
繰越金	2,581,360	1,956,690	△ 624,670	
会費	41,000	43,000	2,000	卒業生500円×86名
雑収入	230	200	△ 30	預金利息
合計	2,622,590	1,999,890	△ 622,700	

支出				
科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	摘要
繰出金	500,000	400,000	△ 100,000	通常費に繰り出し
教育充実支援金	165,900	170,000	4,100	久美高だより
合計	665,900	570,000	△ 95,900	

平成23年度 通常費収支予算書

収入				
科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	摘要
繰入金	314,876	458,929	144,053	
会費	500,000	400,000	△ 100,000	基本金より繰り入れ
雑収入	328,000	344,000	16,000	卒業生4,000円×86名
会報賛助金	147,965	1,000	△ 146,965	預金利息
会報賛助金	625,080	550,000	△ 75,080	
合計	1,915,921	1,753,929	△ 161,992	

支出				
科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	摘要
会議費	1,500	5,000	3,500	理事会・事務局会議
事業費	1,205,719	1,345,000	139,281	
会報発行	1,043,106	1,100,000	56,894	会報発行に係わる全経費
卒業生記念品	55,839	60,000	4,161	卒業証書ブック
定例地区委員会	0	10,000	10,000	定例地区委員会
講演会	87,874	150,000	62,126	〇B等による講演会
支部活性化対策	18,900	25,000	6,100	各支部総会
支部等助成費	70,000	80,000	10,000	各支部総会
旅運搬費	90,800	110,000	19,200	各支部総会・他
通信運搬費	25,690	40,000	14,310	理事会・地区委員会案内他
事務費	7,209	10,000	2,791	用紙・他
雑費	55,000	90,000	35,000	支部総会祝金、学年同窓会奨励金
雑費	1,074	20,000	18,926	
予備費	0	53,929	53,929	
合計	1,456,992	1,753,929	296,937	

会報賛助金のお願い

この会報は、多くの会員と母校、ふるさと相互の交流の場であり、互いの絆であるとの思いから発行を続けてきました。皆様のお力添えのもと続刊して参りましたが、発刊にかかわる経費の面で大変厳しく発行に困難をきたしているのが現状となっております。会員の皆様には、この苦境を御理解いただき会報賛助金による御支援を宜しくお願い申し上げます。

1口 2,000円

御送金は、同封の郵便振込用紙(振込手数料は一切不要)、又は下記口座を御利用下さい。

会報賛助金の振り込み先

郵便振替 **久美浜高校同窓会(会報係)**
01020-6-37810

編集後記

▼今年も同窓会報を発行することができました。同窓会報発行に關しましてたくさんの方に御協力・御支援いただきありがとうございます。特に例年皆様から多額の会報賛助金をいただいております。同窓会員の近況やクラス会・同級会などの報告をお寄せ下さい。来年度の会報に掲載させていただきます。お待ちしております。

▼今年度の講演会は、東北地方の大震災を目の当たりにして大変貴重な内容であり、地元丹後に地震が発生する可能性についてもお話いただきました。

